

中央学院大学 学報

No.
149
2026.Mar

CGU The Journal



今後のより良い広報誌づくりのため、みなさまから本誌に関するご意見ご感想などをお寄せください。
※アンケートの回答は統計的に処理され、個人情報公表されることはありません。
また、調査データをアンケートの目的以外に利用することはありません。



※この印刷物は、FSC®森林認証紙および植物油インキを使用し、環境に配慮されたグリーンプリンティング認定工場にて印刷を行っています。また、ライフサイクルにおけるGHG排出量を算定し、カーボン・オフセットすることで、GHG排出量を実質ゼロにしています。

発行日：2026年3月1日 発行者：中央学院大学
〒270-1196 千葉県我孫子市久寺家 451
TEL：04-7183-6501
URL：https://www.cgu.ac.jp

Text：DATEHARI Co., Ltd.
Photo：Shinji Inoue
Design：Miya Suzuki
Creative Direction：Tokyoheihan Co., Ltd.

空手に捧げた4年間

4歳の時に空手に出会い、空手一筋で歩んできた商学部4年の古矢聖人さん。
そんな彼の大学生生活は、やはり空手を中心だったという。
空手への想い、大学で学んだこと、そして将来の夢について話を聞いた。

尊敬する師との出会いと
大学生活で学んだこと

古矢さんが空手を始めたきっかけを教えてください。

「4歳の時に親に連れられて近所の岩崎空手道場に行ったことがきっかけです。小さい子で仮面ライダーとかヒーローに憧れますよね。それが僕にとっては岩崎優師範でした。師範は発想力も想像力もユーモアもあって話をするのが楽しくて。もう20年近く通っていますが、今でも師範といると毎日が刺激的で、すごくワクワクします。立ち振る舞いや考え方、生き方、師範は全部背中で見せてくれました」

高校を卒業後、中央学院大学に入学しました。大学ではどんな日々を過ごしましたか？

「1、2年生の時は授業が多く忙しかったのですが、必ず一日は休みを作って、その日は朝から夜まで稽古していました。大学に通って一番良かったと思うのは、世界が広がったことです。『自分の常識と他の人の常識は違うので、自分の常識は人に押し付けてはいけない』ということ、体験として学べたことはとても良かったです。」

それからいろいろな人と関わることで、表面の言葉だけではなく、もっと深い部分を見抜く力も身についたと思います」

大学時代で一番記憶に残っていることは何でしょうか？

「3年生の時(2024年)に『第2回ワールドカップ空手道選手権』で優勝したことは特に印象に残っていますね。一日中集中し続けて、体もメンタルもきつかったんですけど、体の調子も良く、いわゆる『ゾーン』に入っていたというか。逆に2025年はケガだらけで絶不調。治りきらないのに練習して、中途半端な仕上がりで試合に出て、負けて...というのを繰り返してしまいました。でもこの経験も一つの学びで、次に生かせる経験だと思っています」

ご自身の技を磨くだけではなく、指導員として子どもたちに空手を教えていると伺いました。何か得たものはありますか？

「多感な時期の子どもたちなのでいろいろ大変ですけど、空手を教えるのは面白いです。それに、子どもたちへの指導方法を考えることは自分自身の稽古にもなるんですね。子どもたちを指導していて気付いたのは、私や親御さんが『強い子になってほしい』と一方的に期待をかけるのはよくないということ

と。努力はいつ花開くか分からないので空手に限らずコツコツ続けていくことが大事で、続けられることが才能だと思います」

新たなステージと
追いかけて続ける夢

今年の3月で大学を卒業されますが、今後の展望について教えてください。

「就職先は茨城県のつくばみらい市役所になります。子どもたちへ渡す資料や生徒を募集するためのチラシなどを作っているため、試験ではその経験も役立ちました。自分が社会人に向いているタイプだと思えないので、すぐ辞めなにか心配で...というのは冗談で(笑)、どんなに辛くても、何があっても3年は続けます。『石の上にも3年』と言いますから」

まずは3年が目標ですね。そのほかにもやりたいことや夢はあるのでしょうか？

「空手の選手として頑張りたいです。岩崎空手道場の支部ももっと広げたいです。自分が師範から受け継いだものを次の世代に伝えていくことが僕のやりたいことで、僕の使命だと思っていますので」

その、師範から受け継いだもの、とは何でしょうか？



「第57回全日本空手道選手権大会」は無差別級に出場し、海外の強豪相手に善戦



「第2回ワールドカップ空手道選手権」では攻めの姿勢を貫き、初優勝を果たす

師範の教えを次の世代へと受け継ぐ。
それが僕の夢なんです



古矢さんが指導する支部についてはこちらから

[iwasakikarate_tsukubamirai](https://www.instagram.com/iwasakikarate_tsukubamirai)

古矢 聖人

MASATO FURUYA

商学部4年

江戸川学園取手高等学校出身

茨城県坂東市出身。4歳から空手を始める。「第3回全日本学生フルコンタクト空手道選手権大会(男子I部重量級)」で3位に入賞。「第2回ワールドカップ空手道選手権(組手・一般男子78kg以上重量級)」で優勝。

君が信じるもの。それが、君の進むべき道

法学部
CGU 大捜査線



科学捜査用の薬品の準備や、仕掛けづくりが大変でした。「毎年楽しみにしている」との声がうれしかったです。手伝ってくれた清水ゼミの卒業生が大勢遊びにきてくれて感動しました！
#子どもから大人まで楽しめる科学捜査
#清水 正博先生

茶道部
お茶席・茶道体験



前日まで準備に没頭。当日は予定していた人数以上のお客様への対応に必死でしたが、みんなで協力して対応できた達成感がたまりませんでした！
#茶道部

キッズアスレティクス研究部
キッズアスレティクス体験教室



家族で自由に遊んでもらうために安全管理は徹底しました。500人近くの方に来場していただきました。想定より多くの方に来場いただき対応が大変でしたが、皆さんの笑顔が見られてよかったです。
#キッズアスレティクス研究部

硬式野球部
ストラックアウト



誰でもすぐに楽しんでもらえる「ストラックアウト」を企画しました。ハブリングもなく、親子連れなど、幅広い年齢層の方に楽しんでもらえてよかったです！
#硬式野球部 #ストラックアウト

商学部
マネジメントゲーム



当日の早朝まで家族にも手伝ってもらって設営。そのおかげで予想以上に人が来てくれました！体験した高校生が「本学を受験したい」と言ってくれましたね。
#親子で楽しくマネジメントゲーム
#増尾 賢一先生 #日隈 信夫先生

現代教養学部
教養クイズ



ゲームの進め方やルールなどを工夫したり、準備も大変でした。ゲームに関する設定にあいまいなところもありましたが、多くの方に来ていただきうれしかったです。
#現代教養学部 #林 健一先生

2025.10.25(sat)-26(sun)

Special Report !!

第57回 あびこ祭

2025年10月に開催され、2,777名が来場した「第57回あびこ祭」。ステージでは吹奏楽団やダンスサークル、お笑いライブなどで大盛り上がり！各学部の特色を生かした企画や、学生団体による模擬店も大成功し、笑顔あふれる2日間となった。



吹奏楽団
ステージ演奏



大学祭前は駅伝の応援で、練習時間の確保が大変でした。当日は風が強く楽譜も飛ばされて慌てました。地元のファンの方から演奏終了後に花束をいただきましたうれしかったです♡
#吹奏楽団 #cgubrassband

Unity
映画「ただいまといえる場所」



スケジュール調整、我孫子市内の撮影許可など大変でしたが、なんとか映画が完成!!! みんなと一つのを完成させる達成感や楽しさは、ここでしか味わえなかったです！
#Unity #今しかできないことをみんなと！
#地域と学生の交流！ #我孫子市を元気に！

法人事務室
模擬店



初めての出店で火力の調整が難しかったですね。「おいしかったからまた買いに来ました！」とたこ焼きとコーヒーを購入してくれたお客さま、ありがとうございました！
#たこ焼き #ちゅーいん Café

オープンキャンパススタッフ
模擬店



オープンキャンパススタッフとしてフルーツを出店して3年目、初めてグルメコンテストで優勝することができ感動！当日ケチャップがなくなり買い出しに走ったこともいい思い出です。
#チームオーキャン
#目指せグルメコンテスト連覇

実行委員長 松浦 泰征さん

当日は生憎の雨でしたが、多くの来場者で賑わい、無事成功を取ることができました。実行委員長として、委員一人ひとりの力を引き出したことが何よりの成果であると感じています。個人としても委員全体としても、次に繋がる貴重な体験となりました。



2024年に誕生したあびこ祭のキャラクター「あびのぼんた」よろしくね！



あびのぼんたのグッズも販売しました！

Enjoy!

nice

中央学院大学の学生が企画・提案 手賀沼ランタン Xmas フェスティバル

2025年12月20日に開催された「手賀沼ランタン Xmas フェスティバル」。中央学院大学の学生が提案した新たなイベントは大きな注目を集め、事前販売のスカイランタンは販売から2日で完売。当日は市内外から訪れた多くの方々が手賀沼に集い、幻想的な光が我孫子の夜空を明るく照らし出した。



▶ 本学の学生たちもボランティアとして参加



◀ 願いやイラストが描かれたランタンが我孫子の夜空を明るく照らした

Comment

クリエイティブな学生がどんどん育ってほしいです

我孫子市 星野 順一郎 市長



若い世代のための企画は、同じ世代の人々が考え、実行することが重要です。かつて我孫子市で実施した子育て政策も、同世代の職員が中心となって考えました。学生の企画はどうしても予算への意識など足りないところもありますが、それは我孫子市がバックアップできます。今回のスカイランタンの企画もそうして実現できたことがうれしいですね。大学生時代に経験したことを、卒業後に自分の町に戻って活かすのもいいと思います。これからもクリエイティブな学生がどんどん育ってほしいと願っています。

提案・企画、実行まで担当した感動のスカイランタン
2024年11月、我孫子市と本学との共催による、「第一回大学生による我孫子市の施策提案発表会」で、冬のイベントの少なさに着目し、「我孫子スカイランタン」を提案した学生チームが金賞を受賞した。この提案が、2025年12月20日、我孫子市市制施行55周年のフィナーレイベントとして実施され、約500基のスカイランタンが、我孫子市の夜空に舞い上がった。
このイベントを4年生の時に提案した白井咲妃さんは、そ

の後、我孫子市役所に入庁。今回の実行担当者にも抜擢された白井さんに、思いを聞いた。
「6月から5ヶ月かけた提案内容は、就職活動と並行していたメンバーもいたので大変でした。本当に人が集まるのか、このイベントで我孫子市の魅力を引き出せるのか、熟考しましたし、実際のランタンイベントにも足を運びました。我孫子市役所に入庁後は財政課に配属されたのですが、声をかけていただいてスカイランタンの実現に携わることができました。実行する側になると、予算など学生時代にはわからなかった苦労もたくさんありました。小さなこと

大きなチャンスにつながることもあるので、学生の皆さんにはいろいろなことにどんどん挑戦してほしいと思います」

施策提案発表会の様子▼

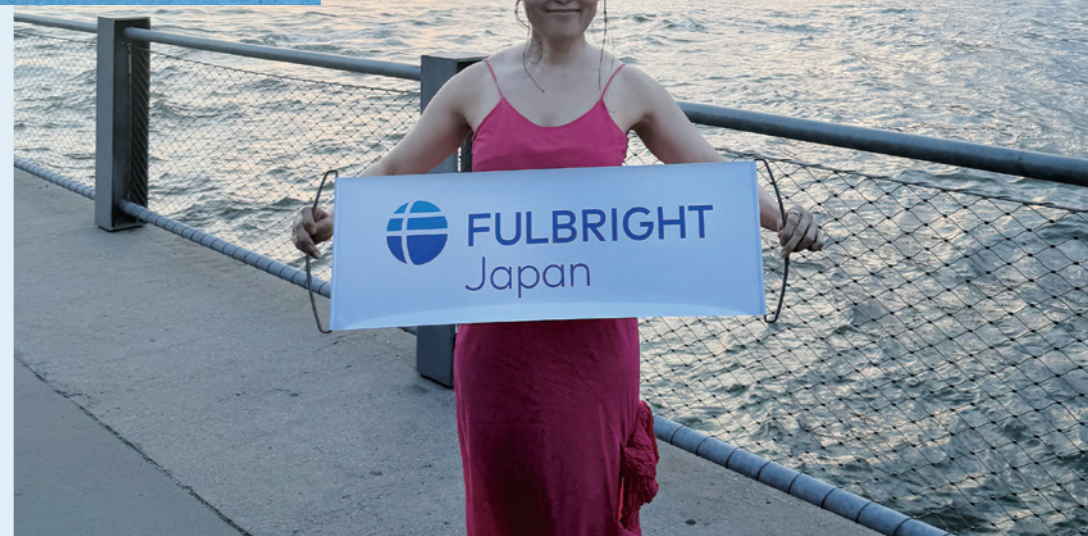
2024年の施策提案発表会で金賞を受賞した「専業職」のメンバーで、現在は我孫子市役所勤務の白井咲妃さん。

アメリカで待っていた 人生を変える出会いと学び



みね まいこ
峯 真依子 先生
(現代教養学部 准教授)

担当は英米文学実践論など。フルブライト奨学金を受賞し、2025年9月よりコロンビア大学に客員研究員として在籍中。



そんな元奴隷たちがまだ存命中の1930年代に、連邦作家計画という文化政策がアメリカ政府主導で行われました。プロジェクトに参加したのは、ラルフ・エリスンら、当時現役の黒人作家たちです。彼らは数多くの元奴隷にインタビューし、集めた証言を文学作品の中に落とし込んでいきました。私はそうした作品と奴隷の声がどうつながっているのかと、作

子どもの頃、私は教会のオルガンで弾く黒人霊歌に、他の曲とは違う何かを感じていました。どこが違うのか。なぜそう感じるのか。それを知りたいと思ったことが、研究人生の出発点になりました。かつてアメリカの黒人奴隷は字を書くことを禁じられ、自らの体験や思いを文字として残すことができませんでした。私が心を動かされた黒人霊歌は、彼らが自分たちの苦しみや希望を文字以外で表現するための手段の一つだったのです。

意外な場所で出会った 人生の一大テーマ



奴隷解放に尽力した元黒人奴隷ハリエット・タブマンの銅像を背景に (Anthony Artis @artphotofilms 撮影)

実はもうひとつ大きなプロジェクトが自分の中にあつて、それは、人と出会うこと。研究だけしては作れないつながりを得るために、街に出ているいろいろなチャレンジしています。ハロウィーンのパレードに参加したり、近所の公園で毎夜行われているラップバトルに飛び入りしたり。ラップは2行でギブアップして泣いて帰りましたが…(笑)。そうした活動でさまざまな階



アトランタで開催のオール・ヒストリー学会で、Dr. Claytee White と共に (Stefani Evans氏 撮影)

ここでしかできない体験と 新たに見つけた夢

今後の目標は、滞在中の研究成果を一冊の本にまとめること。さらに、一般の方々のための文化交流の「奨学金財団」を設立するという、新たな夢もできました。詩人のマヤ・アンジェロウは成功の定義について「自分を好きになること。そして、自分が何をどう行うかを好きになること」と語っています。学びは自分を好きになることにつながり、それが最大の成功なのです。研究は大変ですが、想像している以上のものを与えてくれますよ。学生の皆さんにも、いつかこれをやらないと生きていく気がしない」と感じられ、それに取り組み自分を好きになれるようなテーマを見つけてほしいと思います。



「フルブライト奨学金」受賞の様子



峯真依子先生へのメールはこちらへ



今年100周年を迎え、多くのイベントで盛り上がっている ショーンバーグ・センター

学校法人中央学院 学校創立 125周年



1900(明治33)年10月1日、東京日本橋蛸殻町に開校された学校法人中央学院は、2025(令和7)年に記念すべき学校創立125周年を迎えました。開校までの道のりには、数々の困難と絶え間ない努力、そして協力がありました。先人の方々に敬意を表し、歴史を振り返る大切なイベントをレポートします。

学校創立125周年記念事業「記念日イベント」

2025(令和7)年10月1日、学校法人中央学院の起源校である中央学院大学中央高等学校(東京都江東区亀戸)で、学校創立125周年記念事業「記念日イベント」が行われました。

第1部：記念動画上映

記念動画「学校創立125周年の歴史や未来への展望」を生徒と共に鑑賞。一世紀以上にわたる学び舎の歴史を知り、これからも続く未来を展望しました。



映像で125年の歴史を知る生徒たち

第2部：記念講演会

中西直樹教授(龍谷大学文学部)の講演を通じて、学院の設立期、草創期に尽力した「学祖七賢人」の詳細や、彼らがいかにして出会い、どのような想いを抱いて学院を設立したのかを学びました。



中西教授の講演



学生・生徒たちとの質疑応答

第3部：表彰式

“大橋校長先生に届けたい「中央高を10倍楽しむ方法」”と題して、5プロジェクト18名の生徒から、課外活動やサークル活動など、高校生活をより深く楽しめる提案があり、5組が表彰されました。



詳細はこちら



大村学長より表彰と記念品の授与

第4部：物故者法要

学校創立125周年、その起源である1900(明治33)年10月1日、「日本橋簡易商業夜学校」の創立を記念し、築地本願寺(浄土真宗本願寺派)本堂にて「学祖七賢人(高楠順次郎、梅原融、宝閣善教、前田慧雲、酒生慧眼、佐竹観海、桜井義肇)」の特別法要を執り行いました。



木村共宏副宗務長と200名を超える参列者の皆さん



厳かな空気で行う焼香



謝辞を述べる椎名理事長

勉強についての どんな疑問や悩みもサポート 「学習相談デスク」を 活用しよう!

2025年9月、図書館1階のコミュニケーションラウンジに開設された学習相談デスク。どのように活用するのか? さまざまな疑問にお答えします!



Q いつ利用できますか?



A 毎週水曜日と木曜日の12:10~16:50まで利用できます。場所は図書館1階コミュニケーションラウンジです。オンラインでの相談は行っていません。

Q 予約の取り方は?



A 学生・国際交流グループの窓口、電話にてご予約ください。詳しくはCGUポータルをご確認ください。部署: 学生・国際交流グループ 電話: 04-7183-6518

Q 1回に何分くらい相談にのってもらえますか?



A 1回30分が基本ですが、相談内容によっては1時間になることもあります。

Q 2人一緒に相談できますか?



A 1人でもグループでも、どちらでも大丈夫です。

message from advisors



「なんでも気軽に相談してほしいですね」

現在、1ヶ月に20名くらいの学生に利用していただいています。学生だけでなく、大学院の留学生から日本語でのプレゼンテーションについてなど、具体的な相談を受けることもあります。後日、進歩・改善した結果や、さらに良くするための相談などを受けた時は、大変うれしく思いますね。私たちは先生ではなく、学生の皆さんにとって身近なアドバイザー、相談員です。学習に関してだけでなく、学生生活などに関しても、気軽に相談してほしいですね。

Q どんな相談ができますか?



A レポートの書き方や、授業でのメモの取り方、資料の探し方や卒論の書き方、学生生活に関することなど気軽に相談してください。

Q 何回でも相談していいですか?



A 大丈夫ですよ。相談した結果や、その後の変化などを報告してくれる学生さんもらっています。

第102回 東京箱根間往復 大学駅伝競走

第102回箱根駅伝において、予選会をトップで通過した中央学院大学は、10時間54分51秒の総合11位でフィニッシュ。惜しくもシード権獲得には届かなかったものの、記録面では大きな躍進を遂げた大会となりました。まず主将の近田陽路選手と、4区の2年・長友英吾選手が個人での大学新記録を達成。さらに、往路・復路・総合タイムの全てで大学記録を更新。そして新チームは「ゼロからのチャレンジ」を掲げ、10月の予選会突破と、来年の第103回大会でのステップアップを目指し、新たなスタートを切りました。



@Getsuriku



洗濯や掃除を自分自身で行う寮生活は、自立への有益な経験ができた場所。



主務の石橋楽人さんと。寮の入口には小学生から贈られた千羽鶴が飾られている。



寮にあるトレーニングルームでは、ストレッチやクールダウンを行える。

大学生活の思い出



箱根駅伝の予選会で1位を取ってみんなでHappy!

箱根駅伝後に家族と会い、感謝を伝えることができました。



苦楽を共にした同期と陸上以外でエンジョイ!



悔しさを エネルギーに変えて

中央学院大学駅伝部の主将を務めた近田陽路さん。
駅伝に捧げた大学4年間の思い出と、
卒業後の目標などについて話を聞きました。

近田 陽路

HIRO KONDA

法学部4年
豊川高等学校出身

愛知県豊橋市出身。「第102回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)予選会」では、日本人選手トップの個人総合7位。「第102回東京箱根間往復大学駅伝競走(箱根駅伝)」1区 区間4位。



仲間たちと共に 走り続けた4年間

中央学院大学に入学した経緯を教えてください。

「高校時代はタイムも平凡で、大学で陸上競技を続けるか迷っていました。そんな時、中央学院大学の川崎勇二監督が、豊川高校まで足を運んでくださったんです。当時、つま先接地(走法)が主流の中、私は、かかと接地。だったのですが、監督は「かかと接地で5000メートル、14分30秒を出せるのは才能だ」と高く評価してくれました。「この監督の下なら間違いない」と確信し、中央学院大学への進学を決めました」

箱根駅伝を意識し始めたのはいつからですか?
「高校時代、箱根駅伝は、テレビの中の世界で自分が走る姿は想像すらできませんでした。気持ちが変わったのは、1年生時の箱根駅伝です。結果は予選落ちで、他大学のレベルの高さを痛感しました。そして、応援と勉強も兼ねて足を運んだ本戦で各大学の選手たちが走る姿を間近で見た時、「自分もこの舞台で走りたい」という強い思いが湧き上がってきたんです」

2年生の時に本大会に初出場された時のお気持ちは?
「9区を任せられました。箱根駅伝の舞台で競い合うレベルに達していませんでした。この経験を経て、『箱根で勝負するための練習とは何か』を突き詰めるようになりました」
2025年10月の箱根予選会では、日本選手トップの個人総合7位というすばらしい成績を修めましたね。
「ラスト1kmの時『ここが勝負だ!』と自分に活を入れ、ゴール前の競り合いはあまり自信がなかったのですが、今回は『絶対に負けたくない』という気持ちだけで走り切りました」
2026年1月2日、3日に開催された「第102回箱根駅伝」では、1区を任せられました。最後の箱根はいかがでしたか?
「1区のスタートラインに立った時、不思議と緊張はありませんでした。予選会日本人トップという結果が自信になっていましたし、強豪選手たちとも対等に戦えるだけの練習を積み重ねてきた自信があったからです。狙い通り最後にスパートをかけることができ、自分の中では満点に近い走りだったと思います。チーム全体としては、目標としていたシード権(10位以内)に届かず11位。一人ひとりの『何が何でも勝つ』という執念がわずかに足りなかったのだと感じています。一

人5秒を縮めることができれば、それだけで50秒縮めることができます。その5秒を縮める気持ちの強さが、壁を破るためには必要なんだと痛感しました」
主将としてはどのような心構えで臨みましたか?
「主将としては、対話。を最優先してきました。本番で力を出し切れるよう、一人ひとりの調子を細かく聞き、状況に応じてメニューを提案するなど密に連携したんです。その結果、指導陣も含めたチーム全体の風通しが良くなり、全員が納得して本番に臨める状態を作れました」
駅伝部の4年間で一番学んだことは何でしょうか?
「才能がない者は、人の何倍も努力しなければ強くなれない。ということです。僕は自分に才能があるとは思っていません。一流選手と同じ走りを再現しようとしても、そこには才能。という壁があると感じています。でも、努力次第で彼らに近い場所まで行くことはできます。そのためには努力が不可欠です。誰よりも努力を泥臭く積み重ねる。その重要性を、この4年間で改めて学びました」
才能がないという自己評価の中で、挑戦や努力を続ける原動力を教えてください。
「悔しさ、ですね。特に2

年生時の箱根駅伝でたすきを繋げられなかったことは一生忘れられません。当時の私は9区を任せられていました。そして本当にあと少しというところで、10区の飯塚達也主将が繰り上げスタートで9人の汗が染みこんでいないタスキで駆け出していきました。たすきを繋ぐことは駅伝の使命です。それが果たせなかった悔しさを片時も忘れることがなかったからこそ、苦しい時も自分を追い込み続けることができました」

卒業後は愛知製鋼株式会社に入社されるそうですね。抱負をお願いします。
「これまではハーフマラソンがメインでしたが、愛知製鋼では本格的にマラソンに取り組んでいきたいと考えています。目標は日本選手権でしっかりと結果を残すこと、そして夢は日本記録を更新することです。その高い壁を越えるためにこれまで以上に努力を積み重ねていくつもりです。不安もありますが、新しい挑戦へのワクワクがいつばいいです」

最後に駅伝部の仲間たちへメッセージをお願いします。
「本当に楽しくて、充実した時間でした。みんなに助けられたからこそ自分はここまで強くなれました。言葉では言い表せない『ありがとう』の気持ちでいっぱい입니다。
そして後輩のみんなへ。今年、本当に悔しい思いをしたと思います。でも、その悔しさが強くなるための最大のエネルギーです。シード権と言わず、優勝を狙うくらいの強気な姿勢で走り続けてください。OBとしてしっかりと見張ってますから(笑)。そして、僕を信じて大舞台上に起用してくれた監督やスタッフの皆さんには、本当に感謝しかありません。その恩返しとして、実業団や五輪で結果を出したいと思っています。監督の教えで心に刻んでいるのは『挨拶・掃除・時間厳守』の徹底。掃除の緻密さは走りの分析に、挨拶や時間厳守は周りからの信頼に繋がります。この3つの基本は、これからの僕の指針として大切に守り続けます」

2026 (令和 8) 年度 中央学院大学 学年暦

3月27日(金)～4月8日(水):4年生 3月30日(月)～4月8日(水):3年生 3月31日(火)～4月8日(水):2年生 4月 6日(月)～4月8日(水):1年生	7月20日(月) 海の日 ※祝日等の授業実施日②	10月24日(土)～10月25日(日) 大学祭(あびこ祭)
履修登録	7月29日(水) 春セマスター 授業終了	11月23日(月) 勤労感謝の日 ※祝日等の授業実施日④
4月3日(金) 入学式	7月30日(木)～8月5日(水) 春セマスター 予備週間	12月23日(水) 年内授業終了
4月6日(月)～4月8日(水) 新入生プライムセミナー	8月6日(木)～8月9日(日) 春セマスター 集中授業	12月24日(木)～1月7日(木) 冬季休業
4月8日(水)～4月10日(金) 定期健康診断	8月10日(月)～9月17日(木) 夏季休業	1月8日(金) 秋セマスター 授業再開
4月9日(木) 春セマスター 授業開始	9月14日(月)～9月17日(木) 秋セマスター 履修登録	1月15日(金) 休講(大学入学共通テスト前日 ／準備)
4月29日(水) 昭和の日 ※祝日等の授業実施日①	9月18日(金) 秋セマスター 授業開始	1月26日(火) 秋セマスター 授業終了
5月4日(月) みどりの日 祝日	9月30日(水) 春セマスター 卒業式	2月1日(月)～2月5日(金) 秋セマスター 予備週間
5月5日(火) こどもの日 創立記念日	10月1日(木) 学校法人中央学院「学校起源日」	2月8日(月)・2月9日(火) 2月10日(水)・2月12日(金) 秋セマスター 集中授業
5月6日(水) 振替休日	10月12日(月) スポーツの日 ※祝日等の授業実施日③	2月13日(土)～3月31日(水) 春季休業
5月7日(木) 創立記念日振替休業日	10月23日(金) 大学祭(あびこ祭)準備日	3月20日(土) 卒業式
5月8日(金) 大学が定めた休日		

11月7日(土) 大学創立60周年記念行事日(授業なし)
※祝日等の授業実施日・・・授業日数確保のため、祝日、振替休日に授業を実施します。
※予備週間・・・定期試験、追試、補講などを実施する期間です。授業担当教員の指示に従ってください。

編集後記

今号では、空手や駅伝で活躍する学生、そしてアメリカで挑戦を続ける峯先生取材しました。それぞれが積み重ねてきた努力や、支えてくれる方々への感謝の思いに触れ、本学の力強い歩みと広がりを感じました。取材にご協力いただいた皆様ありがとうございました。
なお、2026年5月には大学創立60周年を迎え、11月7日には記念イベントも実施される予定です。イベントの詳細につきましては、大学ホームページ等でお知らせいたします。



クラブ活動トピックス

2025年度後半に活躍したクラブの主な大会結果を報告します。

ゴルフ部



男子

- ▶ 文部科学大臣杯争奪第44回日本学生ゴルフ王座決定戦…………… 出場
- ▶ 第63回会長杯争奪関東学生ゴルフ選手権…………… 優勝
- ▶ 常陸宮杯第4回全日本大学ゴルフ選手権競技…………… 6位
- ▶ 文部科学大臣杯争奪第44回日本学生ゴルフ王座決定戦 関東地区予選…………… 出場
- ▶ 関東大学秋季Aブロックリーグ戦…………… 3位
- ▶ 第73回関東学生ゴルフ選手権…………… 出場

女子

- ▶ 第61回会長杯争奪関東女子学生ゴルフ選手権…………… 準優勝
- ▶ 文部科学大臣杯争奪第8回日本女子学生ゴルフ王座決定戦 関東地区予選…………… 出場
- ▶ 常陸宮妃杯第4回全日本女子大学ゴルフ選手権競技 関東地区予選会…………… 出場
- ▶ 関東女子大学秋季Aブロック対抗戦…………… 6位
- ▶ 第63回関東女子学生ゴルフ選手権…………… 出場

硬式野球部



- ▶ 千葉県大学野球秋季リーグ1部…………… 3位

駅伝部



- ▶ 第102回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会…………… 1位
- ▶ 第102回東京箱根間往復大学駅伝競走…………… 総合11位
- ▶ 秩父宮賜杯 全日本大学駅伝対校選手権大会…………… 15位

バレーボール部



男子

- ▶ JVA 第37回全日本ビーチバレーボール大学選手権大会
- ▶ アクティオ杯 ビーチバレージャパンカレッジ2025…………… 出場
- ▶ 令和7年度「天皇杯・皇后杯 JVA 全日本バレーボール選手権大会」関東ブロックラウンド…………… 出場
- ▶ 2025年度秋季関東大学バレーボールリーグ戦(男子2部)…………… 6位
- ▶ 令和7年度 千葉県大学バレーボール男女選手権大会…………… 優勝
- ▶ 第78回秩父宮賜杯全日本バレーボール大学男子選手権大会…………… ベスト16

サッカー一部



男子

- ▶ 関東大学サッカー3部リーグ…………… 11位
- ▶ インディペンデンスリーグ…………… 関東1部Dブロック10位
- ▶ インディペンデンスリーグ…………… 関東2部Dブロック3位
- ▶ インディペンデンスリーグ…………… 関東2部Fブロック4位
- ▶ 関東大学サッカーリーグ新人戦…………… Fブロック4位

女子

- ▶ 関東大学女子サッカーリーグ…………… 3部3位

学校創立125年の 原点と変革— 大学が挑む「学びの深化」

大学の伝統を守りつつ新風を
吹き込む大村芳昭学長に、
中央学院大学の“今と未来”について
伺いました。

学長

大村 芳昭

YOSHIAKI OMURA

東京大学大学院法学政治学研究科博士課程単位取得退学。中央学院大学法学部専任講師、助教授を経て、2005年4月教授に就任。その後、2012年から2018年まで法学部長（3期6年）、2019年から2021年まで学生サポートセンター長を歴任し、2022年7月中央学院大学学長に就任。



寄り添う心はそのままに
学びをアップデート

第15代学長に就任されてから3
年半になりますね。今はどんな
思いでしょうか？

「2022年7月1日に中央
学院大学の学長を拝命いたしま
した。責任の重さを感じるとも
に、自分を学長の型に一方的
にはめ込むのではなく、自分の
個性を活かした新しい学長像を
追求したいと考え、ここまで歩
んできました。前半はまだコロ
ナ禍の影響が色濃く、いろいろ
と苦労もありましたが、現在の
活気あふれるキャンパスを見る
とうれしく思います」

2025年10月1日には、学校
法人として125周年の節目を
迎えました。改めて、感想をお
願います。

「私たちの原点は1900年、
高橋順次郎先生を中心とした7
人の先駆者が立ち上げた日本橋
簡易商業夜学校です。当初は、
わずか数十人規模のまさに「手
作り」の教育現場でした。昼の
仕事を終えてから集まる学生た
ちですから、授業が退屈であれ
ば寝てしまいます。先生方はい
かに学生のやる気を引き出すか、
現代の私たち以上に親身になっ
て指導にあたられたはずで
その、一人ひとりに寄り添う精
神こそ、私たちが最も見習う
べき原点だと考えています」

125年の歴史の重みを感じま
すね。150周年へ向けたこれ
からについて、今どのような思
いを抱いていますか？

「その間には震災や戦争、経済
の激変といったさまざまな時代
の浮沈がありました。それらを
乗り越えてきた歴史を私たちは
背負っています。この125周
年を、次なる150周年に向け
た確かな一歩にしたい。伝統を
重んじつつ、常に新しい価値を
創造し、より良い形で未来へ繋
いでいく決意です」



学長室には、高橋順次郎氏がプリントさ
れたTシャツが飾られている

そして2026年には、大学と
して60周年を迎えます。

「人間でいえば還暦。身近な
企業ですと、牛井の「松屋」
（1966年創業）が同い年です
が、歴史の重みを持ちつつもお
客様のニーズを察知し次々と新
メニューを出す柔軟さに、大学
経営のあり方を再認識させられ
ます。業種は違えど、本学も伝
統を守るだけでなく常に挑戦
を続け、目の前の学生に評価さ
れる存在であり続けなければな

りません」
伝統を重んじつつ新風を吹き込
むということですね。現在の課
題は何でしょうか？

「定員管理厳格化の緩和によ
り、本学を志す学生をお迎えす
ることに苦労するようになりま
した。いかに受験生に選ばれ
評価される大学へと変革するか。
その方向性を打ち出すことが最
大の課題です」

「大学の本分である『学びの中
身』の充実です。高校生が『こ
こでなら面白いことが学べる』
とワクワクする環境を作らなけ
ればなりません。各学部の強み
を前面に出す改革を教員と進め
つつ、外部専門家の助言も取り
入れ、カリキュラムや入試制度
留学生受け入れの改善などを段
階的に実行しています」

改めて中央学院大学の魅力はど
こにあると考えますか？

「本学の魅力は、教職員と学生
の距離が非常に近いことです。
適度な規模感だからこそ、一人
ひとりに目が届き、何かあった
際にも小回りが利く。このアッ
トホームな距離感」と、柔軟な
対応力こそが、中央学院大学
らしさだと自負しています」

学長のXを拝見したのですが、
日常についての投稿も多く親し
みやすさを感じました。

「写真を撮るのが好きで、よく

Xに投稿しています。キャンパ
スの四季折々の表情や、新幹線
からの富士山など、ついシャッ
ターを切ってしまうですね。ま
た私は、2019年頃に乃木坂
46というアイドルグループの
ファンになりました。同じ乃木
坂ファンの学生と語り合うこと
もあります（笑）。趣味を通じて
学生と繋がるのは、私にとっ
ても非常に面白く、有意義な時
間だと感じています」



乃木坂46のファンが集う乃木神社の
絵馬には、大学への思いが綴られた

これから社会へ羽ばたく卒業生
へ向けてエールをお願いします。
「卒業生の皆さんは、コロナ禍
で苦労をしながら高校生活をお
くり、大学生活の中で日常が戻っ
ていく過程を歩んできました。
ここで過ごした時間が皆さんに
とって楽しい記憶となっていた
ら、これほどうれしいことはあ
りません。4年間で得たものは
学問だけではないはず。自
らが積み上げてきた経験を過小
評価せず、自信を持って社会へ
飛び出し、さらに大きく成長さ
れることを願っています」

4月には新入生が入学します。
どんな大学生活をおくってほし
いと思いますか？

「新入生はICT教育が当たり
前の中で育った世代です。まず
はその、新しい感覚を大切に
してください。あふれる情報や
テクノロジーに溺れるのではな
く、自分のスキルアップのため
に使いこなしてほしいと思いま
す。レポートをAIに丸投げし
て思考を止めるのではなく、A
Iや教職員と上手に付き合いな
がら、自分自身を高めていく。
そんな4年間にしてください」

最後に在学生へのメッセージを
お願いします。

「本学は、真に実力が身につく
教育を目指した改革の真っ
最中です。この道のりを共に歩
んでくれている学生の皆さん
に、まず感謝を伝えたいと思
います。本学は社会科学中心の大
学であり、領域が限られている
からこそ、興味を深く掘り下
げ、学びを伸ばせる環境があり
ます。大学生活は過ぎてしまえ
ば本当にあつという間です。卒
業時に自身の成長を実感できる
よう、成長度を可視化する仕組
みを整え、皆さんの学びを全力
でバックアップしています。こ
の環境を大いに利用し、自信を
持って社会へ旅立つ準備を整え
てください」

今年度退任される先生方をご紹介します

①学部 ②在籍期間 ③専門分野



高澤 一雄 教授

- ①商学部
- ②1993年～
- ③原価計算論



寺戸 節郎 教授

- ①商学部
- ②2005年～
- ③会計学(管理会計)



清水 正博 教授

- ①法学部
- ②2014年～
- ③民事法学



五百田 俊治 教授

- ①法学部
- ②2017年～
- ③民事・商事事件



谷川 尚哉 教授

- ①法学部
- ②1997年～
- ③人文地理学/地理教育論/
漁業地理学(捕鯨問題)



高橋 実里 講師

- ①商学部
- ②2024年～
- ③発達心理学/教育心理学



山本 憲志郎 教授

- ①商学部
- ②2001年～
- ③自然地理学/地形学/第四紀学



柴田 優子 教授

- ①法学部
- ②1997年～
- ③英文学



木村 健登 准教授

- ①法学部
- ②2020年～
- ③商法(会社法・保険法)



中川 淳司 教授

- ①現代教養学部
- ②2019年～
- ③国際経済法

※順不同